

「第三次佐久地域定住自立圏共生ビジョン」に係る意見について（令和6年9月30日付け書面開催通知）（意見照会10月25日まで）

①【資料1】第三次佐久地域定住自立圏共生ビジョンについての意見

委員意見					回 答			
番号	政策分野	施策分野	取組事項	取り組む事業	意見概要	団体名	意見に対する回答など	回答者 (担当部会)
1	共生ビジョン全般				<ul style="list-style-type: none"> ●3ページ・9ページ 千曲川ワインパレー（東地区）特区の構成区域について、軽井沢町及び御代田町が含まれていないが、現状確認されたい。 ●34ページ・50ページ 表記について、スペース調整されたい。 ●資料1（参考）12ページ・16ページ 事業名について、修正されたい。 	佐久広域連合事務局	<p>○3ページ・9ページ 千曲川ワインパレー（東地区）特区の現時点の構成区域は上田市・小諸市・千曲市・東御市・佐久市・立科町・青木村・長和町・坂城町であることから、ビジョンの表記となっております。今後、区域の変更がありましたら、随時見直しを図ります。</p> <p>○34ページ・50ページ 御指摘の内容のとおり、修正いたします。</p> <p>○資料1（参考）12ページ・16ページ 御指摘の内容のとおり、修正いたします。</p>	佐久市企画課
2	共生ビジョン全般				<ul style="list-style-type: none"> ●佐久平駅周辺の人口増加の伸びが著しいが、旧臼田、浅科、望月地区の人口を伸ばしていく政策は考えられているか。 	長野県保育連盟	<p>○佐久市では、佐久市デジタル田園都市国家構想総合戦略に基づき、喫緊の課題である少子化対策や、当市の将来を担う子どもたちを育てていく子育て支援施策の抜本的見直しとして、「子ども・子育て支援拠点施設」の開設などを推進しております。また、人口の社会増を目指した取組として、補助金等の移住施策のほか、子どもの教育への関心が高い層へ当市の魅力を発信する等、「教育移住」の促進にも取り組んでおります。当市の高齢化率は、全国に比して高い水準となっておりますが、地域の特徴を生かしながら、それぞれの地域の拠点の質を高めることで、人口流出の抑制や人口流入の促進につなげていく施策を今後も展開してまいります。</p>	佐久市企画課
3	共生ビジョン全般				<ul style="list-style-type: none"> ●5ページ（2） 2段落目で「・・・原形復旧ではない、・・・改良復旧・機能強化による・・・」とあるので、この考え方を表す「ビルド・バック・ベター」という語句も記入するとよいのではないか。 ●5ページ（2） 4段落目で「・・・「新しい生活様式」の実践が求められており、・・・」とあるが、現時点で求められていないので、「「・・・「新しい生活様式」の実践が求められ、・・・」に修正するとよいのではないか。 ●5ページ（2）の続きで6ページ上段 2段落目の内容は、新型コロナが大きな社会問題となっている時のものであり、現在は、災害時はもとより感染症の場合であっても相互の支え合いが重要であるとの認識が広がっていると思われるので、2段落目を「感染対策と社会経済活動のバランスの中でテレワーク等の働き方の浸透やデジタル化の推進等が広がったが、災害時を含め、有事の際の住民同士の支え合いにつながりを確保するため、地域の顔の見えるつながりも合わせて推進することが重要となっております。」といった内容に変更するとよいのではないか。 ●17ページの事業番号2 「終了」とあるが、令和4年度においても実施していなかった事業を掲載する必要があるか？ 逆に、令和6年度から始まった急病センターは、佐久市主体ではなく、広域連合主体となったためにこのビジョンには掲載しないということか？ 「終了」として掲載するのであれば、「令和6年度から広域連合主体で実施」旨を記載してもよいのではないか。 	佐久保健福祉事務所	<p>○5ページ～6ページ 御指摘の内容について追記・修正いたします。</p> <p>○17ページ 令和3年度に終了した「佐久地域平日夜間急病診療センター」は、佐久市が主体となり、佐久医師会の協力を得て、佐久地域定住自立圏による取組を行ってまいりました。令和6年度からの再開に当たり、定住自立圏による取組ではなく、佐久地域11市町村が実施主体となって、小諸北佐久医師会及び佐久医師会、佐久市立国保浅間総合病院並びに佐久広域連合が連携して実施しております。令和4年2月の第三次佐久地域定住自立圏共生ビジョンの策定時には方針が定まっていなかったことから、項目として残っております。現行の佐久地域平日夜間急病診療センターについては、佐久地域定住自立圏の取組ではありませんが、御意見を参考とさせていただき、注釈を追記し、広域連合関係の取組として記載いたします。</p>	佐久市企画課

「第三次佐久地域定住自立圏共生ビジョン」に係る意見について（令和6年9月30日付け書面開催通知）（意見照会10月25日まで）

4	生活機能の強化	保健・医療	地域医療の環境整備	休日救急歯科診療所開設支援事業	<p>●サングリモ中込の休日救急歯科診療所は、平成20年に開設し15年が経過し、佐久圏域の休日救急歯科医療の拠点となっている。佐久圏域のみならず、圏内外、乳幼児から御高齢者まで幅広く来院されている。今後も地域及び来院される皆様に必要とされる診療所を目標に引き続き自治体の皆様と手を携え運営・診療を進めていくことが必要である。</p>	佐久歯科医師会	<p>○平成20年度の開設から16年が経過し、医療機器等も修繕や入替えが必要な状況となっており、昨年、必要な機器などについて佐久歯科医師会の先生方と確認を行いました。今後計画的に入替えや修繕等を行い、佐久圏域の休日救急歯科診療所の拠点としての運営支援を行ってまいります。</p>	保健・医療部会
5	生活機能の強化	保健・医療	地域医療の環境整備	<p>上手な医療機関のかかり方等周知・啓発活動事業</p> <p>●佐久歯科医師会では、長年にわたり各種歯科検診事業を実施してきた。これまで35歳以上の集団検診で、希望者に歯科検診を行ってきたが、国民皆歯科検診を始めるに当たり、佐久市健康づくり推進課と協議し、令和7年度から20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳の節目に個別健診へと変更する予定。検診を各歯科診療所にすることで、地域のより多くの人々に、若いときから検診を受けてもらい、健康づくりに関心を持ってもらえる一助になればと考える。</p> <p>歯科においては、オーラルフレイル予防（口腔機能の維持・向上）を推進している。オーラルフレイル（滑舌の低下、食べこぼし、わずかなむせ、噛めない食品の増加、口腔乾燥など）が社会とのつながりを疎遠にさせてしまい、外食・外出・会話などの頻度や質が低下していく。そして身体能力の低下・栄養状態の悪化・コミュニケーション能力の低下があらわれ、フレイルを悪化させていく。オーラルフレイル予防を若年層にも周知して若いうちから予防に努めてもらえればと考える。そのためにも検診者数増加・予防と健康意識向上を目標に地域住民の皆様への広報（情報発信）と啓発活動（イベント開催、媒体作成配布など）が重要である。</p> <p>そこで、佐久歯科医師会では昨年度、啓発活動の一環として佐久・南佐久地域自治体へ住民向け情報発信・啓発用資料（チラシ・ポスター）の配布依頼を実施した。自治体の健康づくりイベント、地域包括支援センターの活動などに参加し地域住民の方により近い状況で啓発活動を実施していくことも重要と捉えている。また、広報・健康増進・超高齢化社会への対策は自治体のみならずあらゆる他団体との「多職種連携」が不可欠である。情報の共有しかり、フレイル予防に歯科検診を皆様の職場でも周知・実施していただきたい。</p>	佐久歯科医師会	<p>○長年にわたり、佐久市の歯科保健事業に御協力を頂きありがとうございます。歯周病（義歯）検診については、身体の健診の一項目として地域集団健診の中で、多くの先生方に御協力を頂いております。令和7年度からは、佐久歯科医師会、北佐久歯科医師会の先生方と、これまで「国民皆歯科検診」を見据え、見直しを一緒に行い、対象年齢と、実施方法を個別検診に変更しスタートする予定となっています。現在対象となっていない若者も含め、多くの市民の方が定期的な歯科検診を受けやすい環境を作ってまいります。全身の健康につながる歯周病などの口腔の健康保持・増進を図る口腔歯科保健事業を今後も歯科医師会の御協力を頂きながら進めてまいります。幅広い世代へのオーラルフレイル予防などの周知や広報活動については、多職種との連携、情報共有も図り各種講座や教室での正しい知識の情報発信に努めてまいります。また、地域住民の方への啓発活動も工夫してまいりますので、御協力をお願いいたします。</p>	保健・医療部会	
6	生活機能の強化	保健・医療	住民の健康増進	<p>特定健康診査推進事業</p> <p>●20ページ 事業の内容を分かりやすく表現するとよいのではないか。検査結果書の様式を統一したといった内容か。受診率の向上につながるということがわかる記載があるとよいのではないか。</p>	佐久保健福祉事務所	<p>○20ページ 事業概要の中では、検査結果書の様式の統一を目指すことも含まれております。御意見いただいた内容を踏まえ、今後、表現の見直しを含めて検討してまいります。</p>	保健・医療部会	
7	生活機能の強化	学校教育	不登校児童生徒等の支援体制の充実	<p>不登校児童生徒等支援事業</p> <p>●現在、多くの子どもたちが悩みや不安を抱えている。スクールカウンセラー等との連携はありがたいことであり、スクールソーシャルワーカーも有用だと考える。</p>	全佐久PTA連合会	<p>○不登校児童生徒支援においては、学校だけでなく、市教育委員会の教育相談員を始め、状況によって児童生徒の臨床心理に関して専門的な知識を有するスクールカウンセラーや、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識や技術を有するスクールソーシャルワーカーなどにも関わっていただいております。引き続き児童生徒の心に寄り添った丁寧な対応に努めてまいります。</p>	学校教育部会	

②【資料2】佐久地域定住自立圏共生ビジョンにおける成果指標等の進捗状況についての意見

							回 答	
番号	政策分野	施策分野	取組事項	成果指標	意見概要	団体名	意見に対する回答など	回答者 (担当部会)
1	共生ビジョン全般				<ul style="list-style-type: none"> ●「成果や課題、今後の取組等」の欄に使用されている用語について、圏域市町村・関係市町村・構成市町村・圏域自治体の各用語の定義に基づき記載されているか、確認願いたい。 ●事業費ゼロ事業の進捗状況管理とともに、実質動いていない事業は見直しの必要があるため、確認願いたい。 ●今後、定住自立圏事業と佐久広域連合取組事業の重複について、連携のあり方、役割分担、実施主体等の具体的調整が求められる。 	佐久広域連合事務局	<p>○御指摘の内容について統一して修正いたします。</p> <p>○事業費が「0」となっている事業は、事業の実施に予算を必要としない事業や、調査や検討を実施している事業等、予算措置を伴わない形で実施している事業となります。見直しが必要な事業については、各担当部会において検討を進めてまいります。</p> <p>○定住自立圏事業と佐久広域連合取組事業における連携のあり方、役割分担、実施主体等の具体的調整については、定住自立圏における施策分野ごとの部会における協議を図りながら、検討を進めてまいります。</p>	佐久市企画課
2	生活機能の強化	保健・医療	住民の健康増進	特定健康診査受診率	<ul style="list-style-type: none"> ●地域集団健診の受診者が減少しつつある。令和7年度から歯科検診は集団健診から個別健診に、20歳からの節目健診と変更する予定。また、今後の受診者数の状況は推移をみていく予定。 改めて多職種との連携を強化して、御協力を頂きながら事業を実施し、また多方面へ協力していければと考える。 	佐久歯科医師会	<p>○特定健診など身体の健診は、地域集団健診と個別健診で行っておりますが、健診受診対象者は全体的に減少傾向です。近年の受診者の傾向としては、個別健診の受診者が増加しております。歯周病（義歯）検診については、令和7年度から個別検診となり、対象年齢は35歳以上の市民から、健康増進法で示されている該当年齢（20歳から70歳までの10年間の節目年齢）の方と妊婦の方となる予定です。対象者がこれまでと大きく変わるため、受診者の見込みは難しいところですが、佐久市外の歯科医師会会員の先生方にも御協力を頂く予定としており、市外にかかりつけ歯科医を持つ市民の方も、歯周病（義歯）検診が受けやすい環境となることが想定されます。令和7年度の受診状況をみながら、引き続き相談させていただき、歯周病（義歯）検診の受診率向上に取り組んでまいります。</p>	保健・医療部会
3	結びつきやネットワークの強化	建設	道路等交通インフラの整備	中部横断自動車道八千穂高原インターチェンジから（仮称）長坂ジャンクション間の整備計画路線への早期格上げ要望活動の開催回数（累計）	<ul style="list-style-type: none"> ●成果指標について、末尾に「要望活動開催回数」を記載してはどうか。 	佐久地域振興局	<p>○共生ビジョンの表記に合わせ、御指摘の内容について修正いたします。</p>	建設部会
4	結びつきやネットワークの強化	定住促進・交流推進	定住促進及び交流推進	移住サポート利用者数（累計）	<ul style="list-style-type: none"> ●累計数を成果指標としている事業の数値について、累計となっているか確認されたい。No.5のゲートキーパー養成研修会受講者数の記載方法にならってはどうか。また、進捗状況をわかりやすくするため、進捗率の列を追加してはどうか。 	佐久地域振興局	<p>○ビジョン対象期間のR4～R8の5年間の累計で6,600人を成果指標としておりますので、ゲートキーパーの記載内容を参考に、修正します。</p> <p>進捗率につきましては、それぞれの施策ごとに進捗率を表記した際、施策の目標値設定が累計・年度ごとで異なるため、一概に比較するのが困難かと考えられますが、わかりやすい表示について、今後検討してまいります。</p>	定住促進・交流推進部会
5	結びつきやネットワークの強化	社会教育	社会教育施設の広域的活用	イベント、スポーツ大会等の共同開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ●累計数を成果指標としている事業の数値について、累計となっているか確認されたい。No.5のゲートキーパー養成研修会受講者数の記載方法にならってはどうか。また、進捗状況をわかりやすくするため、進捗率の列を追加してはどうか。 	佐久地域振興局	<p>○ビジョン対象期間のR4～R8の5年間の累計で15回を成果指標としておりますので、ゲートキーパーの記載内容を参考に、修正します。</p> <p>進捗率につきましては、それぞれの施策ごとに進捗率を表記した際、施策の目標値設定が累計・年度ごとで異なるため、一概に比較するのが困難かと考えられますが、わかりやすい表示について、今後検討してまいります。</p>	社会教育部会

「第三次佐久地域定住自立圏共生ビジョン」に係る意見について（令和6年9月30日付け書面開催通知）（意見照会10月25日まで）

③【その他】佐久地域定住自立圏共生ビジョンについての意見

委員意見						回答		
番号	政策分野	施策分野	取組事項	取り組む事業	意見概要	団体名	意見に対する回答など	回答者 (担当部会)
1	共生ビジョン全般				●佐久地域11市町村が実施主体となる佐久地域平日夜間急病診療センター運営（令和6年4月開設）や佐久広域連合が事業主体となる圏域観光連携事業、関連するICT教育推進事業、広域防災体制連携強化事業等、定住自立圏との連携が重要である。今後の人口減少社会に向けて県、市町村、広域連合、定住自立圏における共同処理等、行政のあり方について協議が必要と思われる。	佐久広域連合事務局	○御指摘いただいた内容は、県、市町村、広域連合、定住自立圏における共通課題であることから、関係者と相互の連携を図りながら、今後の取組を進めてまいります。	佐久市企画課
2	共生ビジョン全般				●今回の変更は、主には事業費を更新するだけの内容である。そのような場合は、ビジョンそのものを変更しなくてもいいのではないかと。令和3年度中に立てた5年間の計画がその後、計画どおりに実施できたのか、そうではなかったのかを評価するためには、計画をそのまま残しておく必要がある。事業費の更新であれば、ビジョンそのものを変更せず、通知の形で今年度は実際にはこうなります、といった連絡でいいのではないかと。	佐久保健福祉事務所	○佐久地域定住自立圏を構成する市町村が相互に連携して必要な生活機能等を確保し、もって定住人口の確保と地域の活性化を図ることを目的として、佐久市と各構成市町村は、「定住自立圏形成協定」を締結しており、その具体的な取組の内容については、本ビジョンにおいて示すこととしております。 また、定住自立圏の取組については、その活動を推進する中で、協定を締結していない施策分野や取組項目においても、連携することにより効果的・効率的な施策展開が図られるものについては、積極的に追加協定を締結し、定住自立圏に取り込んでいくことが望ましいことから、その共生ビジョンについては、毎年度所要の見直しを行うこととしています。 定住自立圏の取組については、引き続き、本懇談会で頂いた御意見等を参考とし、施策分野ごとの部会における協議等を行いながら、必要な見直しを行ってまいります。	佐久市企画課
3	共生ビジョン全般				●市町村の絆、住民の絆、どちらも大切である。この方向でよいと思う。	佐久校長会	○御意見として承り、定住自立圏の今後の取組の参考とさせていただきます。	佐久市企画課
4	生活機能の強化	保健・医療	地域医療の環境整備	上手な医療機関のかかり方等周知・啓発活動事業	●佐久市の歯周疾患健診について、来年から各歯科医院に住民の皆様が行ってもらうようになると聞いている。また、患者様の主治医の関係から、佐久市の方が北佐久の診療所にも来院して健診を受けようになると聞いている。これも地域連携の一つと捉えている。11月に説明会があるとのこと、よろしくお願ひしたい。	北佐久歯科医師会	佐久市の歯科保健事業は、佐久歯科医師会、北佐久歯科医師会の先生方に御協力を頂き実施しています。現在、佐久市の歯周病（義歯）検診は、市内にある歯科医療機関の先生方に御協力いただき、地域集団健診の中で実施していますが、実施方法の見直しにより、令和7年度からは、市外にかかりつけ歯科医のある市民の方が、かかりつけ歯科医で歯周病（義歯）検診が受けられるよう、市外の歯科医師会の先生方にも御協力をお願いしているところであります。市民にとって受診しやすい環境づくりに御協力をお願いします。	保健・医療部会